

3月句会 題「応援」互選 数字は票数

- 3 頑張れと言わぬ親の背見ている子 きよな
- 3 両方のチームにエールノーサイド 正清
- 3 吉報に国中揺れて笑顔の輪 哲子
- 3 水前寺清子背中を押しにくる アキラ
- 3 応援の力を借りて五人抜き 純一
- 4 難儀やね母はいつでも子の味方 広子
- 4 時代越えて応援ソングボブ・ディラン郁子
- 5 勝たせたい小さい方のお相撲さん 健一
- 5 頑張れと言われ苦になるとしとなる 乃り子
- 5 口出さず金も出さずに祈ります 広子
- 6 推し活は自分に送るエールです 郁子
- 12. 秀 気持ちだけです 晩酌能登の酒 アキラ

お題「水」(連記) 谷ロミチ選

- 喧嘩あと夫敬語で水くさい 乃り子
- ガス水道普通のこと感謝する ひよこ
- たいがいは水に流して生きている 広子
- 喉渴きビールで済ます水補給 えいじ
- 厄介な水に流せぬわだかまり 健一
- コンビニでどの水買うか迷う世に 英二
- もらい水まだ被災地は給水車 幸男
- トレードでチーム変わり水得た魚 千楽
- 急流にもまれ面とり丸い石 正清
- 原発の処理が出来ない津波跡 基弘
- 泥水を手で掬い飲む子の姿 きよな
- 佳 辿り着く中継点のいのち水 哲子
- 佳 湯上りに父が好んだ寒の水 アキラ
- 佳 賭博事件大谷ロード水さされ 純一
- 佳 大山の伏流水の味の味 郁子
- 秀 水盤に一足先に初夏をたく ちさと
- 軸 リフレッシュせせらぎの音雨の音 ミチ

お題「走る」 播本英二選

- 息子より孫の一等胸あつい 哲子
- 人間を信じられずに走り出す 正清
- お悔やみ状あんなこんなに走るペン 郁子
- ホームラン打って盗塁できるヤツ アキラ
- 花形のリレーアンカー遠い過去 ミチ
- バス停へ気持ちはダッシュ足もつれ アキラ
- すらすらとペンが走らず句も詠めず 幸男

走ること忘れるような歳になり
アナログ派よそに時代は突っ走る
後二分駅まで走る朝の道
ひた走る若さは景色見ていない
走り続けて停年辞令新天地
耳澄ます走るサイレン止まる場所
秀 生かされてゴール見えずにまた走る

軸 リニアーカー走る前から脱線し
正清
英二

お題「ずるい」(共選) 川崎ちさと選

時効などどつくにすぎている情
AIを使ってデマを流す人
したくても主婦は出来ないずる休み
悪賢い詐欺師の罠にかかるまい
要領とずるいはもしや紙一重
外交はノーを使わずノーを言う
幹事役のマドンナ来ないクラス会
不都合な真実おもてには出さず
今ならば値上げをしても目立たない
ずるしても全部ばれてる子の姿
天から二物与えられてる人もいる
善人のずるさは顔に描いてある
ズルすると顔にきっちり現れる
面倒は妻にまかせるずる夫
秀 一事不再理の連続片思い
軸 狡猾と言われ美徳のパラドクス
ちさと

お題「ずるい」(共選) 奥村義雄選

外交はノーを使わずノーを言う
いじめては利益掠める大企業
ずるしてるジツと見上げる子供の目
口裏を合わせ嘘つく議員達
不都合な真実おもてには出さず
ズル休み許してくれた恩師逝く
今ならば値上げをしても目立たない
惑わせて素知らぬ顔で去るアナタ
ずるしても全部ばれてる子の姿
流れ読みうまく乗ってるせこい奴
AIを使ってデマを流す人
防衛装備めぐらまして武器輸出
天から二物与えられてる人もいる
きかん坊祖母の前ではお利口さん
健一

えいじ 千楽 きよな 広子 乃り子 健一 正清 基弘 広子 乃り子 健一 正清 基弘 幸男 正清 ちさと 千楽 英二 乃り子 千楽 幸男 正清 基弘 純一 哲子 基弘 乃り子 健一 哲子 正清 郁子 基弘 乃り子 健一

秀 したくても主婦は出来ないずる休み

広子

ナビ頼り知らぬ道行く一人旅

基弘

軸 ずるそうな狐似の顔損をする

義雄

寒い冬耐えて色どる春の花
道けわし開拓しつつ前に行く
トラブルの多い体に歳を知る

自由吟 野々村アキラ選

千楽

墓じまい地獄の沙汰も物入りだ
報復招く二枚舌外交だ

人生の悲喜こもごもを写す花
舌をつく菜の花びたし春を呼ぶ
一年生未来が弾むランドセル
今日も打つ大谷始動日々楽し

哲子

日米の絆強めてシームレス

郁子

閣議決定置き去り感が拭えない

演説に日本では見ぬ大拍手

注目を浴びる不自由いかばかり

あら草の意地が吹き出る回り道
うろうろとして判らない脳のしわ
手探りのしったかぶりが日の目見る
塩味をちよっぴりまぶし下心

ちさと

幸せはほんのりでいい苦勞人

広子

百均へ行くと中国を見直す

充電に時間と金がちと足りぬ

目が合うと笑顔なんです得な人

月日経ち何のことかも覚え無い
ゴミ出しのお陰で朝日拝めます
いい加減人には言えぬ暮らしぶり
落とすからスマホ持たずに出掛けよう

えいじ

朗読を終えた総理の目がうつろ

義雄

リフオームに核シェルターを勧められ

核装備昭和も遠くなりました

九条を貰った礼に武器を買う

天平の名残りをとどむ五月びな
木の芽時うつの病魔が忍びよる
だんだんと心の中の人払い
動脈にらでんを入れてカテーテル

正清

私にもできるのかしら評議員

ミチ

食べたくてキッチンカーに一時間

初撮り顔だけズームどう違う

来年も晴れるといいな春祭り

強風に吹き飛ぶ桜愛おしい
遅い春花の芽のぞくプランター
いとこ会久久に会い弾む声
ラジオ体操いつものように八時半

きよな

同窓会視線の先に淡い恋

健一

7回もワクチン打ってなぜコロナ

何飲むの我が家の女将左党

強面のかつての上司好々爺

人も桜も振り回される寒暖差
心地よく夢に誘う花見酒
経年劣化身体あちこち狂いだす
意地を張ることも叶わぬ今が楽

アキラ

春まつりクレールプ並び一時間

ひよこ

体験の絵付け楽しいトトロ描く

短冊を見てくれる人見て嬉し

桜の木老いてもホラと花咲かす

静と動ハーフハーフで傘寿いく

乃り子

前のめりに生きたこころでバックギヤー

年金日元気ですかとATM

沈黙は賛成してる訳じゃない

勉強会 お題「歩く」互選(8名) 数字は票数
 6 廃炉への道歩いてても歩いてても アキラ
 5 花盛り数値がのびる万歩計 ミチ
 4 歩きたい願い命の果てるまで 郁子
 ゴルフ場カート乗っても一万歩 健一
 マサカの坂だつてあるよ人生は 千楽
 あと十年犬と散歩をゴール点 郁子
 3 歩くのが遅いと孫に手を引かれ 健一
 桜祭りトンネル抜けてみな笑顔 純一
 裏金のない宮仕え悔いはない 千楽
 砂浜の足跡波が持つて行き 基弘

勉強会 お題「歩く」佳句五句 奥村義雄選
 歩くのが遅いと孫に手を引かれ 健一
 歩きたい願い命の果てるまで 郁子
 花盛り数値がのびる万歩計 ミチ
 砂浜の足跡波が持つて行き 基弘
 廃炉への道歩いてても歩いてても アキラ

五月の予定

五月九日(木) 十三時〜 いきいきホール一階
 勉強会(奥村義雄さん監修) お題「野菜」二句
 アキラ迄前日迄に事前投句(会員の欠席投句歓迎)
 *ご希望の方は参加下さい

五月十三日(月) 十三時〜いきいきホール一階
 よもやま話の会(コーヒーの雑談会)
 今月のスピーカーは〇〇さん いろいろ質問し
 答えていただきます。あと自由に雑談します。
 *ご希望の方は参加下さい

五月二十日(月) 十三時〜いきいきホール二階
 五月事前投句句会
 「勘違い」互選 「がっかり」(共選) 基弘 広子
 「拒む」義雄 「歌」(連記) ひよこ 各二句
 自由吟アキラ 四句 「推薦十句」哲子
 五月十八日(土) 十五時事前投句締め
 アキラまでメール又は封書で投句

中央公園春祭りでは、川柳の短冊を飾ら
 せていただきました。

日頃思うことを、五七五で詠んでいます。

新入会員歓迎 新会員向け勉強会実施中

入会金不要 月会費百円

お問い合わせ

*お電話ください 資料持参します

原 広子 79・0061

野々村アキラ

090・6961・1292

*メールでの投句の会員(ウェブ会員)も

募集中 会費は不要です。

気軽にスマホから投句、ぜひ試してみ
 てください。投句先アドレス、野々村アキラ
 まで確認してください。